

## 第 8 回日本 Men's Health 医学会 開催報告

第 8 回日本 Men's Health 医学会はご好評のもと終了いたしました。

多数のご参加・ご支援ありがとうございました。

2008 年 11 月 29 日、30 日の 2 日間にわたり、第 8 回日本 Men's Health 医学会を東京大学医学部教育研究棟内の鉄門記念講堂において開催いたしました。本学会では「男性更年期と生活習慣病」をテーマの一つの柱とし、男性医学の臨床的役割をより一層理解し、専門領域を超えて男性医学の研究、啓発を発展させていくことを目標としました。本学会では、特別講演 2 題、シンポジウム 3 セッション 11 題、ランチョンセミナー 1 題、モーニングセミナー 1 題の講演が行われ、また一般演題では広範な領域から 20 題が発表され、活発な討論が行われました。

特別講演 1 では、門脇孝教授（東京大学）から「メタボリックシンドロームの病態と治療—男性更年期との関連」のタイトルで、メタボリックシンドローム、男性更年期の病態に関する最新の知見から治療の展望に至るまで素晴らしいご講演をいただきました。



特別講演 2 では、Farid Saad 教授（Gulf Medical University）より、性腺機能低下、メタボリックシンドロームをはじめとする様々な病態にける男性ホルモンの役割について基礎的、臨床的知見をご講演いただきました。



シンポジウムは理事、評議員の方々へのアンケート結果をもとにして「高齢男性と排尿機能」、「日本の男性を考える（医学・文化・社会）」、「男性更年期と生活習慣病」のテーマが取り上げられましたが、どのシンポジウムにおいても非常に活発な発表と討議がなされ、これらの分野への高い関心が示されました。

また、ランチョンセミナー、モーニングセミナーも大変盛況で、一般演題についても、男性医学に関する予防、疫学、病態、診断、治療など多彩な研究内容が発表され、活発な質疑、討議が行われました。ご参加いただいた方のご協力により、このように全日程をつつがなく終了することができ、活発な討議や参加者間の交流を通じて、Men's Health 研究、将来展望の一助となったのであれば幸いです。



本学会の開催にあたり、理事、評議員はじめ会員の方々のご指導、ご支援、ご参加に感謝いたしますとともに、企画についてご尽力いただいた方々、日本 Men's Health 医学会事務局の方々、ご協賛いただきました企業の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

東京大学医学部附属病院老年病科  
小川 純人